

環境建築学 ―ひと、もの、自然…、環境の中の、環境としての、建築―

第6回 名古屋大学
まちとすまいの集い

2004年11月13日 土
14:00 - 17:00

名古屋大学環境総合館
1F レクチャーホール

12:00-14:00 オープンラボ

14:00-15:30 第一部：基調講演

市民とともに進むまちづくり

みんなで守る地震防災

暮らしと省エネルギー

清水裕之

福和伸夫

奥宮正哉

15:45-17:00 第二部：パネルディスカッション

「地球環境時代、これからの建築を語る」

コメンテーター：片木篤、飛田潤、原田昌幸

総合司会：久野覚

environment

architecture

建築環境学

ーひと、もの、自然・・・、 環境の中の、環境としての、建築ー

建築は、ひと、もの、自然との大きな関わりあいの中で成立します。地球温暖化などが大きな環境問題として取り上げられている昨今、単体としての建築から、地球環境、社会環境を見すえた、環境の中の、環境としての建築を考える必要があります。

名古屋大学建築学科が、3年前、全国に例を見ない新しい組織である理・工・文連携の大学院環境学研究科へ移りましたのも、上記のような背景があります。我々が環境学研究科の一員として取り組んできた成果を紹介するとともに、市民の方々と共に、タイトルであるーひと、もの、自然・・・、環境の中の、環境としての建築ーを語りたいと思います。

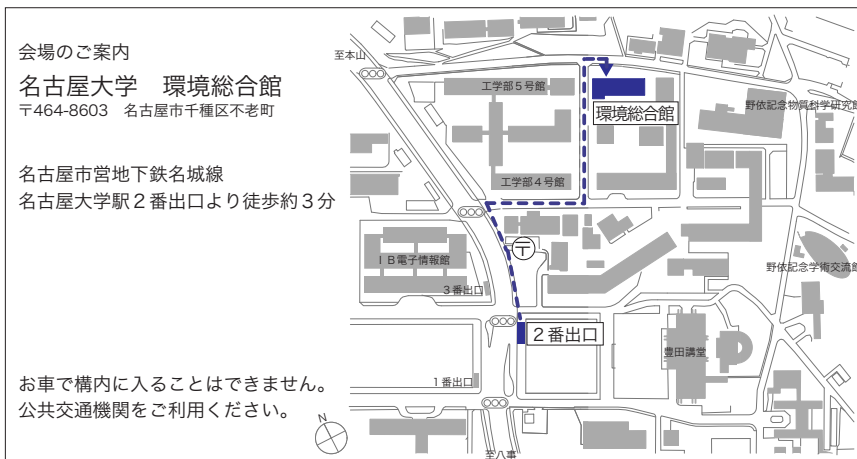
日時 2004年11月13日(土) 14:00~17:00

会場 名古屋大学 環境総合館 1階 レクチャーホール (下図参照)

参加費 無料

定員 100名

主催 名古屋大学大学院 環境学研究科 都市環境学専攻 建築学教室



お申込み方法

下記の申込用紙に必要事項を記入して、FAXまたは郵送してください。Eメールでの申込みも受け付けております。申込み専用ページ (<http://www.nuac.nagoya-u.ac.jp/machi/>) より必要事項を入力の上、お申込みください。

お申込み・問い合わせ先

名古屋大学工学部建築学教室 まちとすまいの集い 事務局 (担当 恒川)
 〒464-8603 名古屋市千種区不老町
 TEL:052-789-4398 FAX:052-789-3773

キリトリ線

名古屋大学 第6回 まちとすまいの集い 参加申込用紙

氏名	所属
住所 〒	
電話	FAX
E-Mail	

プログラム

12:00-14:00

オープンラボ

1F環境シミュレーションスタジオ：四日市都心再生市街地模型

4F名古屋大学災害対策室：地域防災交流ホール

1Fホール：学生の作品・模型等展示

14:00-15:30

第1部：基調講演

主催者挨拶：大森 博司 (建築学教室主任)

清水 裕之 Hiroyuki SHIMIZU 建築計画学

「市民とともにいるまちづくり」

今、私たちのすまう環境は大きな曲がり角にきています。都心部ではあちこちの商店街でシャッターが降り、活力がありません。郊外住宅地も高齢化が進み、空き家ができる一方、いまでも続く乱開発により景観や生態系に混乱をきたしています。我々は 今後も豊かに住み続けることができるのでしょうか。都市の環境は住民が自ら守り育てなくてはなりません。住民同士がどの様にまちを育てることができるのでしょうか。専門家はそこにどの様に関わることができるのでしょうか。こんなことを考えてみたいと思います。

福和 伸夫 Nobuo FUKUWA 地域防災

「みんなで守る地震防災」

差し迫る巨大地震、その被害は、国家予算にも匹敵すると言われてます。今の生活を次の世代に渡すには、被害を抜本的に軽減するしかありません。被害規模を考えれば、行政の力には自ずと限界があり、市民自らが命と生活を守る行動をしなければなりません。社会を構成する皆が協働して息長く減災活動を始めなければいけません。そこで、豊かな町を作るために、楽しみながら、様々な人たちと一致協力して進めてきた私たちの活動について紹介し、減災の輪を広げたいと思います。

奥宮 正哉 Masaya OKUMIYA 環境設備工学

「暮らしと省エネルギー」

私たちは暮らしの中でいろいろなエネルギーを使っています。そして、暮らしのためのエネルギーの消費量は25年前に比べて約2.3倍程度になっており、これを減らすことは地球環境問題などの抑制に十分に貢献できるものとなってきました。そこで、我々は暮らしの中で、どのようなエネルギーをどれくらい、そしてどこで使っているのかを理解したうえで、省エネルギーを達成するためのいくつかの考え方について考えてみたいと思います。

15:45-17:00

第2部：パネルディスカッション

テーマ「地球環境時代、これからの建築を語る」

コメンテーター

片木 篤 Atsushi KATAGI	建築意匠
飛田 潤 Jun TOBITA	地域防災
原田 昌幸 Masayuki HARADA	建築環境工学
総合司会	
久野 覚 Satoru KUNO	建築環境工学